患者向医薬品ガイド

2025年4月更新

ポライビー点滴静注用30mg
ポライビー点滴静注用140mg

【この薬は？】

販売名	ポライビー点滴静注用30mg POLIVY for Intravenous Infusion 30mg	ポライビー点滴静注用140mg POLIVY for Intravenous Infusion 140mg
一般名	ポラツズマブ　ベドチン（遺伝子組換え） Polatuzumab Vedotin（Genetical Recombination）	
含有量 （1バイアル中）	ポラツズマブ　ベドチン（遺伝子組換え）38mg	ポラツズマブ　ベドチン（遺伝子組換え）150mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html　に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、抗悪性腫瘍剤に属する薬です。

・この薬は、ＣＤ７９ｂというたんぱく質をもつがん細胞に結合して、がん細胞の中に取り込まれ、がん細胞の増殖を抑えます。

・次の病気の人に処方されます。

びまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

〇患者さんまたは家族の方は、この治療の効果や注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。この薬による治療の説明に同意した場合に使用が開始されます。

〇次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にポライビー点滴静注用に含まれる成分で過敏症を経験したことがある人

〇次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・感染症にかかっている人
・末梢性ニューロパチーがある人
・肝臓に障害がある人
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・授乳中の人

〇骨髄抑制があらわれることがあるので、この薬の使用前に血液検査が行われます。

〇この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

・使用量、使用回数などは、あなたの症状や体重などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。
・副作用により、この薬を休薬または中止することがあります。
・通常、成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

一回量（体重１ｋｇあたり）	１．８ｍｇ
使用回数	３週間間隔で６回点滴注射します。
使用時間	初回使用時は９０分かけて点滴注射します。 なお、初回の使用で問題がなければ２回目以降の使用時間は３０分間まで短縮する場合もあります。

・リツキシマブ（遺伝子組換え）、シクロホスファミド水和物、ドキソルビシン塩酸塩およびプレドニゾロンまたはメチルプレドニゾロンと併せて使用、もしくはベンダムスチン塩酸塩およびリツキシマブ（遺伝子組換え）と併せて使用します。

・インフュージョン リアクション※を軽減するために、この薬を使用する３０分～１時間前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤または副腎皮質ホルモン剤が使用されることがあります。

※インフュージョン リアクション：
この薬を含むモノクローナル抗体製剤と呼ばれる薬を点滴した時におこることがある体の反応で、過敏症やアレルギーのような症状があらわれます。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・骨髄抑制があらわれることがあるので、この薬の使用中は、定期的に血液検査が行われます。また、G―ＣＳＦ製剤が使用されることがあります。
・腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるので、血清中電解質濃度および腎機能検査などが行われることがあります。
・肝機能障害があらわれることがあるので、定期的な肝機能検査などが行われます。
・妊娠する可能性がある女性は、この薬を使用している間および最終使用後９カ月間は適切な方法で避妊してください。
・男性は、この薬を使用している間および最終使用後６カ月間はバリア法（コンドーム）を用いて避妊してください。
・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

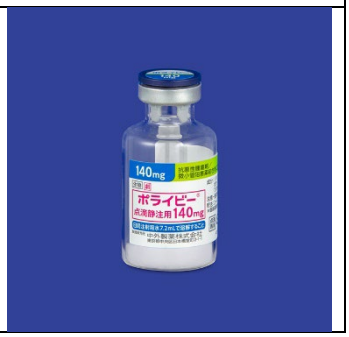
重大な副作用	主な自覚症状
骨髄抑制 こつずいよくせい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ 【好中球減少、発熱性好中球減少症、白血球減少、リンパ球減少】 発熱、突然の高熱、寒気、喉の痛み 【血小板減少】 鼻血、唾液、痰に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい 【貧血】 体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ
感染症 かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい 【肺炎】 発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい 【敗血症】 発熱、寒気、脈が速くなる、体がだるい
末梢性ニューロパチー まっしょうせいニューロパチー	手足のしびれ、痛み、力が入らない、筋萎縮（きんいしゅく）、手足のふるえ
インフュージョン	呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌

リアクション	のはれ、発熱、寒気、嘔吐（おうと）、咳、めまい、動悸
腫瘍崩壊症候群 しゅようほうかいしょうこうぐん	意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ
進行性多巣性白質脳症（ＰＭＬ） しんこうせいたそうせいはくしつのうしょう（ピーエムエル）	けいれん、意識の低下、意識の消失、しゃべりにくい、物忘れをする、手足のまひ
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、出血が止まりにくい、突然の高熱、痛み、力が入らない、体がだるい、けいれん、疲れやすい、食欲不振
頭部	頭が重い、意識の消失、意識の低下、めまい、頭痛、物忘れをする
顔面	まぶた・唇・舌のはれ、鼻血
耳	耳鳴り
口や喉	しゃべりにくい、喉の痛み、歯ぐきからの出血、咳、痰、嘔吐、吐き気、唾液、痰に血が混じる、血を吐く
胸部	呼吸困難、息苦しい、息切れ、動悸
手・足	手足のしびれ、手足のふるえ、手足のまひ、脈が速くなる
皮膚	あおあざができる
筋肉	筋萎縮
尿	尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	ポライビー点滴静注用 ３０ｍｇ	ポライビー点滴静注用 １４０ｍｇ
性状	白色から灰白色の塊	
形状		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ポライビー点滴静注用 ３０ｍｇ	ポライビー点滴静注用 １４０ｍｇ
有効成分	ポラツズマブ　ベドチン（遺伝子組換え）	
添加剤	コハク酸、水酸化ナトリウム、精製白糖、ポリソルベート２０	

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：中外製薬株式会社
(https://www.chugai-pharm.co.jp/)
メディカルインフォメーション部
電話：０１２０－０４９－６９９
受付時間：９時～１７時３０分
（土、日、祝日、会社休日を除く）